

マリー・ジラン

Marie Gillain

生年月日 1975/06/18

出身地 ベルギー／リエージュ

【バイオグラフィ】

■幼い頃からクラシック・バレエなど、ダンスの練習をはじめ、13歳の時、ヴィヴィエ劇団に入団し海外公演を経験。14歳の時に受けた「愛人／ラマン」のオーディションでキャスティング・ディレクターに認められ「さよならモンペール」にて映画デビュー。一躍、脚光を集め若手スターの仲間入りをした。95年、ベルトラン・タヴェルニエ監督のベルリン金熊賞受賞作「ひとりぼっちの狩人たち」に主演、高い評価を受け、彼女自身もロミー・シュナイダー賞に輝いた。その後も映画、舞台と活躍を続ける。近年はコメディ作品でも才能を発揮、演技の幅を広げ、女優として着実な成長を続けている。

【フィルモグラフィ】

タンゴの後で (2024)	出演 :マリー・クリスティーヌ・シュナイダー
ココ・アヴァン・シャネル (2009)	出演 :エイドリアン・シャネル
レディ・エージェント 第三帝国を滅ぼした女たち (2008)	出演
サイン・オブ・デス (2007)	出演
美しき運命の傷痕 (2005)	出演 :アンヌ
ホーンテッド (2005)	出演
スナッチ・アウェイ (2003)	出演
レセ・パセ 自由への通行許可証 (2002)	出演 :オルガ
バルニーのちょっとした心配事 (2000)	出演 :マルゴ
星降る夜のリストランテ (2000)	出演
ラスト・ハーレム (1999)	出演
愛と復讐の騎士 (1997)	出演
ある貴婦人の恋 (1996)	出演
ひとりぼっちの狩人たち (1995)	出演
裸足のマリー (1993)	出演
さよならモンペール (1991)	出演